

【計画】5-1 暖冬によるナシ栽培への影響調査

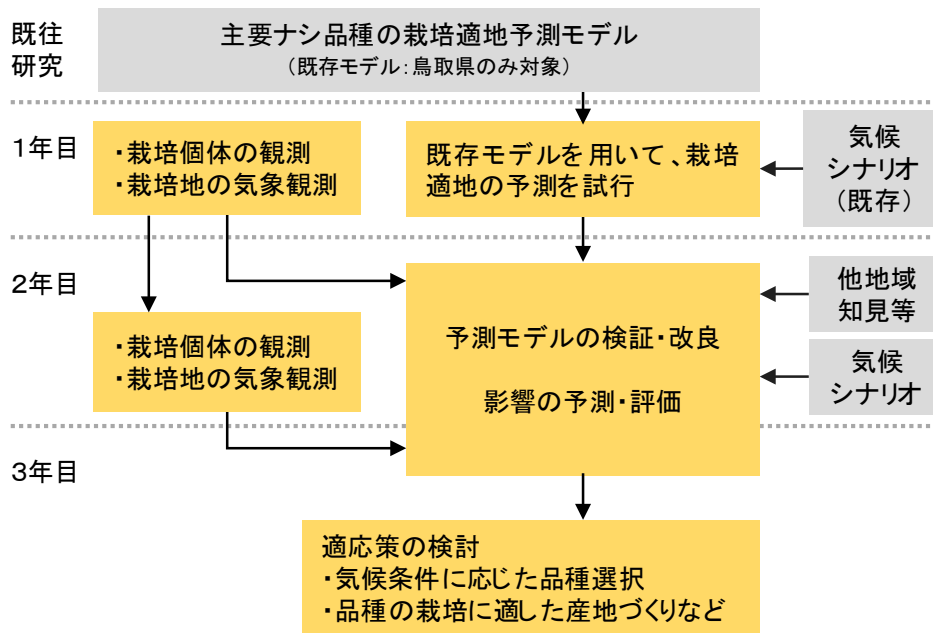
【分野: 農業、対象地域: 中国四国地域全域】

地域適応コンソーシアム
中国四国地域事業

■ 目的

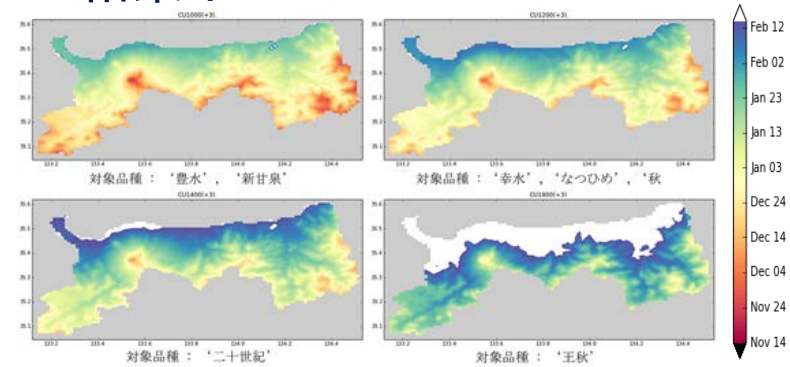
- 気候変動がもたらす暖冬による低温時間の減少は、ナシの発芽不良を通してその生産に影響を及ぼすことが懸念されており、温暖な地域ではすでに被害が生じ始めている。
- 主要ナシ品種を対象に将来の栽培適地を予測し、影響の評価と適応策の検討を行う。

■ 調査計画



豊水の果実(鳥取大学・竹村圭弘氏撮影)

■ 結果イメージ



図は自発休眠打破日*の予測結果を示しており、白色の場所は発芽しなくなり栽培が不可能となる可能性のある場所を表す。

*自発休眠打破日: 十分な低温時間を経験し、展葉・開花が可能となる日

■ 実施体制

(株)地域計画建築研究所
(アルパック)

・各種補助、とりまとめ

鳥取大学

農学部生物資源環境学科

・栽培個体・気象の観測
・予測モデル作成、影響予測

試験研究機関等
(高知県農業技術センター
果樹試験場ほか)

・観測地の提供など